

◎オムニパーク注 [注]

【重要度】★★★ 【一般製剤名】イオヘキソール (U) iohexol 【分類】非イオン性造影剤 (尿路・CT 用)

【単位】240注○10mL/V, 300注◎50mL・◎100mL/V, シリンジ

【常用量】1回5~12mL

【用法】添付文書参照

【透析患者への投与方法】用量を最小限にし、投与後は速やかにHDによる体外除去を図る。PDでは其除去効果が低いため一時的なHDの併用を考慮。(1) 【その他の報告】添付文書上は重篤な腎障害（無尿等）のある患者には原則禁忌となっているが、透析前に造影検査を行うことで安全に使用できる（映像情報 24:1507, 1992）

【保存期 CKD 患者への投与方法】重篤な腎障害（無尿等）のある患者には原則禁忌。(1) 単回投与の場合には減量の必要はない [使用量は最小限にする] (5)

【特徴】非イオン性、低浸透圧ヨード造影剤。

【主な副作用・毒性】ショック・アナフィラキシー、腎不全、意識障害、痙攣、肝障害、皮膚障害、過敏症など

【モニターすべき項目】血圧測定、甲状腺機能

【tmax】静注直後だが、イオヘキソールは細胞外液全体に分布するため濃度は急速に低下する。(U)

【代謝】代謝されない(1)

【排泄】尿中未変化体排泄率 98.8% [24hr まで] (1) 80~90% [24hr まで] (U) 主に腎排泄されほとんどが糸球体濾過による (U) 腎不全では排泄が延長し胆汁を介して小腸への排泄が増加する (U) 【CL】113mL/min (1)

【t1/2】α相 2hr (U) 121分 (11) α相 5~7min, β相 50min, γ相 3hr (1)

【蛋白結合率】10%以下 (U) 5%以下 (11) 1.3% (1)

【分布】静注により速やかに細胞外液全体に分布。臓器への明らかな沈着はない。血液脳関門を通過しないが腫瘍により血液脳関門が破壊されると脳内悪性腫瘍の間質臓器内に蓄積される (U) 【Vd】0.27L/kg (11) 111mL/kg (1)

【MW】821.14

【透析性】分布スペースが細胞外液に限定されるため、透析では大部分が拡散、一部が吸着によって70%程度除去される（透析会誌 23: 796,1990）除去率 78.4±6.5% [4hrHD] (Acta Radiol 37: 966-971,1996) 中分子量領域にあるため透析時間が透析による除去性に影響する (Nephrol Dial Transplant 14: 2407-2412, 1999) 除去率 82% [キュプロファン], 89% [ハイフラックス膜] (1)

【TDMのポイント】TDMの対象にならない【O/W係数】0.001 (11)

【最大効果発現時間】造影力が最大になるのは尿路造影で5~15min。血管造影で投与直後。

【更新日】20140604

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。